

IT Automation BASE (座学)

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

Exastro

目次

- 1. はじめに
 - 1. 本書について
 - 2. 管理コンソールの標準的な作業フロー
 - 3. 基本コンソールの標準的な作業フロー
- 2. 管理/基本コンソールの説明
 - 1. システム設定
 - 2. RBAC (ロールベースアクセス制御)
 - 3. メニューエクスポート/インポート
 - 4. ITAにおける機器の管理
 - 5. オペレーションの概要
 - 6. Symphonyクラスの定義
 - 7. Symphonyの実行

1. はじめに





1.1 本書について

メインメニュー

◆本書は、メニューグループの「管理コンソール」と「基本コンソール」について、ご説明をしております。



管理コンソール

- システム設定
- RBAC (ロールベースアクセス制御)
- ●メニューエクスポート/インポート

基本コンソール

- ●ITAにおける機器の管理
- オペレーションの概要
- Symphonyクラスの定義
- ●Symphonyの実行

1.2 管理コンソールの標準的な作業フロー

管理コンソール

2.1 システム設定

システム設定

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御)

メニューグループ管理

メニュー管理

ロール管理

ユーザ管理

ロール・メニュー紐付管理

ロール・ユーザ紐付管理

2.3 メニューエクスポート/インポート

メニューエクスポート

メニューインポート

エクスポート/インポート管理

バージョン情報

1.3 基本コンソールの標準的な作業フロー

基本コンソール

2.4 ITAにおける機器の管理

OS種別マスタ

機器一覧

2.5 オペレーションの概要

投入オペレーション一覧

2.6 Symphonyクラスの定義

Movement一覧

Symphonyインターフェース情報

Symphonyクラス一覧

Symphonyクラス編集

2.7 Symphonyの実行

Symphony作業実行

Symphony作業確認

Symphony作業一覧

2.1 システム設定 1/2

管理コンソール

2.1 システム設定

システム設定

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御)

メニューグループ管理

メニュー管理

ロール管理

ユーザ管理

ロール・メニュー紐付管理

ロール・ユーザ紐付管理

2.3 メニューエクスポート/インポート

メニューエクスポート

メニューインポート

エクスポート/インポート管理

バージョン情報

2.1 システム設定 2/2

「システム設定」メニューは、システム導入・運用時に設定すべき 各種情報の登録を行います。設定項目は、以下のとおりです。

項目名	説明
IPアドレス規制	IPアドレスを利用したアクセス規制の有効/無効を選択可能
アップロード禁止拡張子	ファイルアップロードを禁止する拡張子
アカウントロック継続期間	アカウントロック起点日時からロック状態を継続する期間
パスワード誤り閾値	アカウントをロックするためのパスワード失敗閾値
パスワード誤りカウント上限	パスワードの連続誤りをカウントする上限回数
パスワード再登録防止期間	同一パスワードの再登録を防止する期間
パスワード有効期間	パスワードの有効期間
認証継続期間:未操作	未操作時に認証(セッション)を継続する期間
認証継続期間:最長	認証(セッション)を継続する最長期間

2.2 RBAC (ロールベースアクセス制御) 1/4

管理コンソール

2.1 システム設定

システム設定

2.2 RBAC (ロールベースアクセス制御)

メニューグループ管理

メニュー管理

ロール管理

ユーザ管理

ロール・メニュー紐付管理

ロール・ユーザ紐付管理

2.3 メニューエクスポート/インポート

メニューエクスポート

メニューインポート

エクスポート/インポート管理

バージョン情報

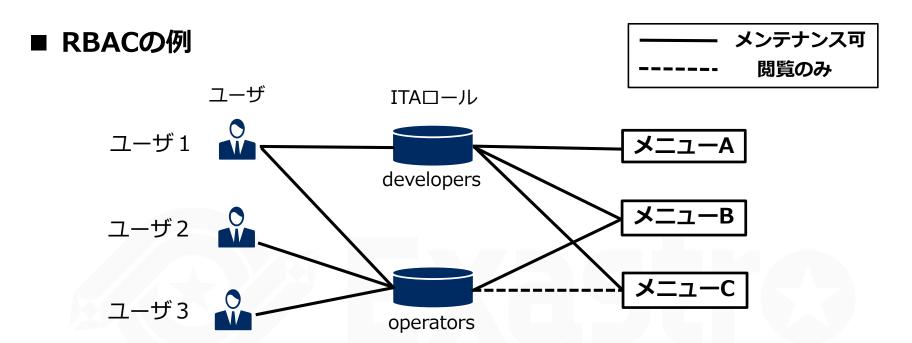
2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御) 2/4

RBACとは

RBACは役割ごとに権限を与える方法です。

ユーザ個人に対して直接許可が与えられるのではなく、 ロールを通して与えられるため、 アクセス権の管理は、ロールへのアクセス権の割り当てという形になります。

2.2 RBAC (ロールベースアクセス制御) 3/4



- メニューA・・・ ユーザ1のみがメンテナンス可
- メニューB・・・ ユーザ全てがメンテナンス可
- メニューC・・・ ユーザ1がメンテナンス可、ユーザ2・3が閲覧のみ可
- ※ ユーザ1は、メニューCに対して『メンテナンス可』と『閲覧のみ』両方の 権限がありますが、『メンテナンス可』の権限が優先されます

2.2 RBAC (ロールベースアクセス制御) 4/4

○ 以下は管理コンソールのメニューの説明になります

▮メニューグループ管理

メニューを複数束ねるものです

メニュー管理

●メニューは必ず一つのメニューグループに所属します

ロール管理

●メニューへのアクセス権限を役割定義するものです

ユーザ管理

- ●ユーザは複数のロールを持つことが可能です
- ●ActiveDirectoryと連携し、ユーザ情報を取得することが可能です

┃ロール・メニュー紐付管理

●ロールごとにメニューへのアクセス権限をメンテナンスできます

ロール・ユーザ紐付管理

ユーザごとに所属するユーザをメンテナンスできます



2.3 メニューインポート/エクスポート 1/2

管理コンソール

2.1 システム設定

システム設定

2.2 RBAC(ロールベースアクセス制御)

メニューグループ管理

メニュー管理

ロール管理

ユーザ管理

ロール・メニュー紐付管理

ロール・ユーザ紐付管理

2.3 メニューエクスポート/インポート

メニューエクスポート

メニューインポート

エクスポート/インポート管理

バージョン情報

2.3 メニューエクスポート/インポート 2/2

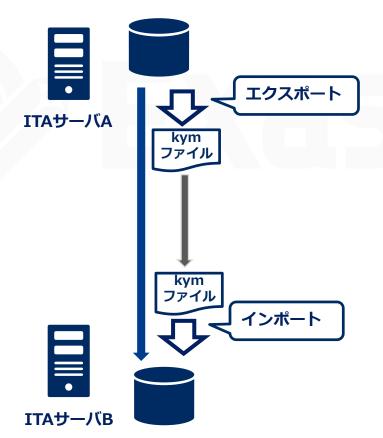
▍メニューエクスポート/インポート

ITAに登録されているメニューのエクスポート/インポートが可能です。

操作手順等の詳細につきましては、利用手順マニュアルをご参照下さい。

※注意※ ITAでの、エクスポート/インポートは、

メニュー単位の上書きになりますので、ご注意下さい。



2.4 ITAにおける機器の管理 1/3

基本コンソール

2.4 ITAにおける機器の管理

OS種別マスタ

機器一覧

2.5 オペレーションの概要

投入オペレーション一覧

2.6 Symphonyクラスの定義

Movement一覧

Symphonyインターフェース情報

Symphonyクラス一覧

Symphonyクラス編集

2.7 Symphonyの実行

Symphony作業実行

Symphony作業確認

Symphony作業一覧

2.4 ITAにおける機器の管理 2/3

| ITAにおける機器の管理(1)

「機器一覧」メニューでは、作業対象ホストの必要情報の登録を行います。

ホストごとの認証情報の設定が可能で、

認証方式については「パスワード認証」と「鍵認証」の2種類から選択できます。

主な登録項目は以下のものがあります

- ·HW機器種別
- ・ホスト名
- ・IPアドレス
- ・ログインユーザID
- ・ログインパスワード
- ・認証方式





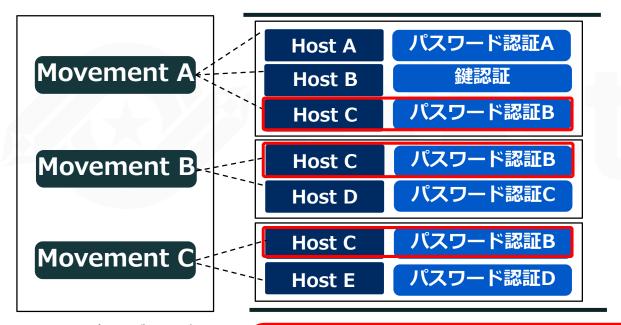
2.4 ITAにおける機器の管理 3/3

ITAにおける機器の管理(2)

ITAでは、機器情報を別管理させることにより、

機器情報の再利用性を高めることができ、

設定情報変更などにも、柔軟に対応することが可能です。



■ Movement (ムーブメント) とは 作業の単位を意味します ※ITAの独自用語

<例>ホストCのパスワード変更が必要になり、変更を実施した。

<結果>ホストCが紐付いている、全てのMovementに 自動的に変更情報が反映されます。

2.5 オペレーションの概要 1/2

基本コンソール

2.4 ITAにおける機器の管理

OS種別マスタ

機器一覧

2.5 オペレーションの概要

投入オペレーション一覧

2.6 Symphony作成の定義

Movement一覧

Symphonyインターフェース情報

Symphonyクラス一覧

Symphonyクラス編集

2.7 Symphonyの実行

Symphony作業実行

Symphony作業確認

Symphony作業一覧

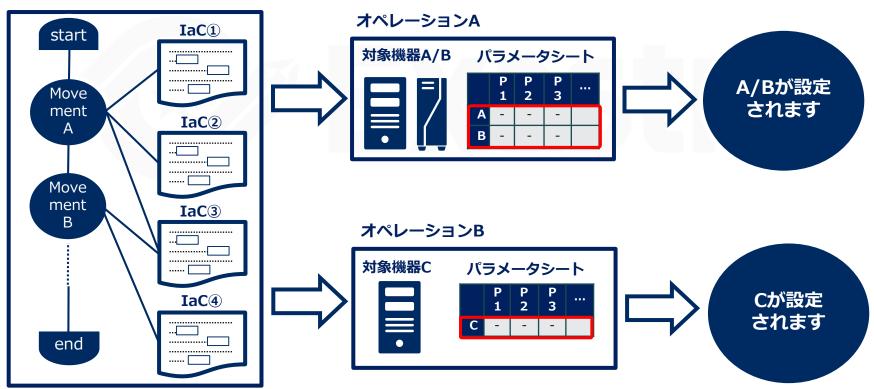
2.5 オペレーションの概要 2/2

| オペレーションとは

ITAでの作業実行単位のことです。

作業予定、実行履歴などを管理することが可能です。

Symphonyクラス



2.6 Symphonyクラスの定義 1/4

基本コンソール

2.4 ITAにおける機器の管理

OS種別マスタ

機器一覧

2.5 オペレーションの概要

投入オペレーション一覧

2.6 Symphonyクラスの定義

Movement一覧

Symphonyインターフェース情報

Symphonyクラス一覧

Symphonyクラス編集

2.7 Symphonyの実行

Symphony作業実行

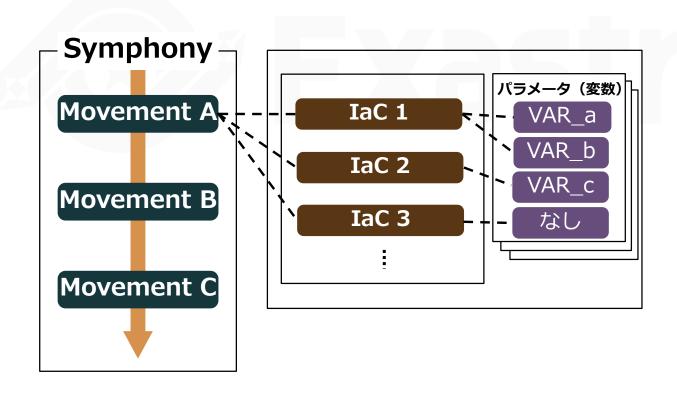
Symphony作業確認

Symphony作業一覧

2.6 Symphonyクラスの定義 2/4

ITAにおけるワークフロー

- ●Symphony(シンフォニー ※ITAの独自用語) …
 Movementと呼ぶ作業パターンを組み合わせて、
 ワークフローを作成し、一連の構築・設定などの作業を行います。
- ●Movement(ムーブメント ※ITAの独自用語)… 作業の単位



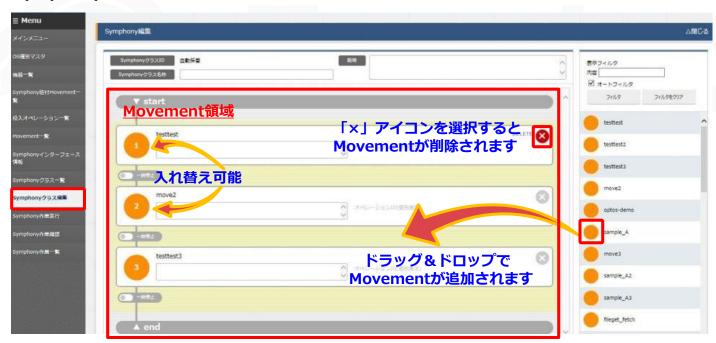
2.6 Symphonyクラスの定義 3/4

Movementの追加と削除

「基本コンソール」>「Symphonyクラス編集」

「Symphonyクラス編集」では、Movementの追加/削除を行うことができます。 またMovement 領域では、Movementをドラッグ&ドロップすることで 入れ替えが可能です。

Symphonyクラス編集画面



2.6 Symphonyクラスの定義 4/4

| 保留設定(一時停止設定)について

「Symphonyクラス編集」では、設定したMovement の下のチェックボックスで、「一時停止」の設定が可能です。

設定を行うと、後続の処理を一時停止することができます。

Symphonyクラス編集画面



2.7 Symphonyの実行 1/8

基本コンソール

2.4 ITAにおける機器の管理

OS種別マスタ

機器一覧

2.5 オペレーションの概要

投入オペレーション一覧

2.6 Symphonyクラスの定義

Movement一覧

Symphonyインターフェース情報

Symphonyクラス一覧

Symphonyクラス編集

2.7 Symphonyの実行

Symphony作業実行

Symphony作業確認

Symphony作業一覧

2.7 Symphonyの実行 2/8

Symphony作業実行

「基本コンソール」>「Symphony作業実行」

Symphony 実行の指示を行います。

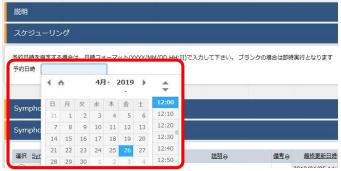
「Symphony[一覧]」「オペレーション[一覧]」をそれぞれ選択し、

「実行」を選択すると「Symphony 作業確認」に遷移し、作業のトレースが始まります。

予約日時に入力して、作業の予約をすることも可能です。



作業実行時間予約画面



2.7 Symphonyの実行 3/8

| 実行時間の予約について

「実行時間の予約」の設定を行った場合、

Symphonyの実行後、即時実行されず、ステータスは「<mark>予約中</mark>」となります。 予約を取消す場合は、「<mark>予約取消</mark>」を選択します。



2.7 Symphonyの実行 4/8

Symphony作業確認

Symphony の実行状態を表示します。

状況に応じて「保留解除」や「緊急停止」の投入が可能です。

Movement をクリックすると、

「作業状態確認画面」に遷移できます。



2.7 Symphonyの実行 5/8

| 保留設定解除(一時停止設定解除)について

「Symphonyクラス編集」にて、「保留設定(一時停止設定)」を有効にしていた場合、 直前のMovementが完了すると、後続の処理は保留状態となります。 後続のMovementを実行する場合は、「保留解除」を選択します。

保留状態のSymphony実行画面

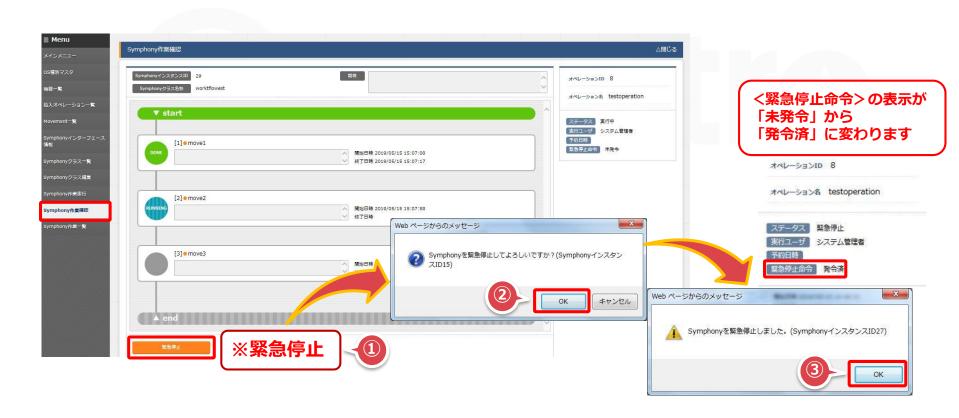


2.7 Symphonyの実行 6/8

|緊急停止機能について(1)

「Symphony作業実行」中に、「<mark>緊急停止</mark>」を実行することで、 作業を停止することが可能です。

- ①「緊急停止」を選択 ⇒ ② ポップアップメッセージに「OK」⇒
- ③ Symphony緊急停止完了のメッセージ表示



2.7 Symphonyの実行 7/8

緊急停止機能について(2)

Movement「move2」の実行中に、緊急停止を実施すると、

各Movementのステータスは、以下のとおりです。

「move1」【正常終了】「move2」【緊急停止】「move3」【未実行】



2.7 Symphonyの実行 8/8

Symphony作業一覧

「基本コンソール」>「Symphony作業一覧」>「一覧」
Symphonyの実行履歴の一覧が表示されます。
「詳細」を選択すると
「Symphony作業確認」画面に遷移し

「詳細」を選択すると、「Symphony作業確認」画面に遷移します。 過去の全ての実行履歴を確認することが可能です。

